コンミューン

No.'68 8/14

文筑波斗争委情宣局発行

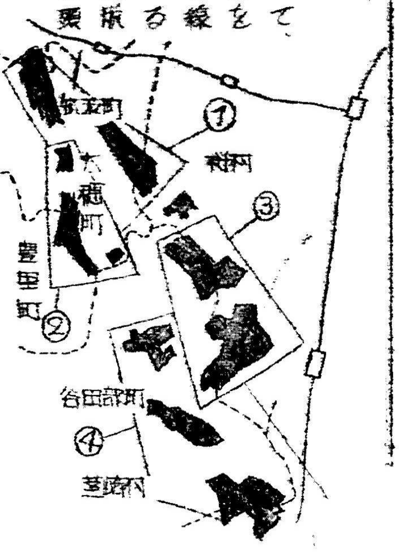
調査費、未だ計上されず!

二十二日、調査費文部省提出阻止の斗いの中で、すでに七月二十日概算要求が行なわれていたことが明らかになった。その中に筑波調査費が入っていたかどうかについて様々な筋より情報を収拾した所、ほぼ計上されていないことが明らかになった。これが我々の長期にわたる斗いの結果であることは云うまでもない。我々は調査費が現象的にどうなったということに眼を奪われることなく、六、二〇評議会決定自体の撤回を追求して更に斗いを進めよう!移転推進派は、今後も筑波研究学園都市においてより有利な位置を占めんが為、調査費計上の策動を進めるであろう。昨年、国立学校特別会計法による調査費(これは全体で一九〇〇万の予算規模、多数校割するので一校の分はきわめて少額となる)に予算計上して失敗している訳だが、一般会計の事業調査費の項目をとるなり(その場合、移転事業は形式的にも前提となる)、最悪の場合でも学内予算をやりくりするなりして、MP委の運転資金を確保するであろう。六・二〇決定に対する断乎たる鉄槌が、MP委解散、昨年六・一〇決定撤回が必須である。↘

概算決定のぎりぎりの局面に立って、逆流させねばならぬ多くの負い目をもつ我々は、調査費計上粉砕等の線が出たにしても、斗いの鋒先をゆるませることなく、他学部の戦線離脱を許すことなく、全学的斗いの先頭に立つべきことを確認しよう!!

筑波現地、研究学園都市はいま具体化!

土地買収現在七一%!年内完了予定!教育大予定地付近八九六%完了!



研究学園都市建設の第一の難関、土地買収の現状は以下の通り、筑波町↓102%、大穂町↓88.6%、豊里町↓73.8%、桜村74.8%、谷田部町63.2%、茎崎村↓21.9%・地方公共団体への土地買収委託契約も更新され、新たに生活再建対策費が20億円投入され、土地売収は年内完了の予定である。(残り五六〇万平方m)そして四四年三月末土地についての残ム整理はすべて終了する。

9日、建設省官報には次のような土地利用計画が告示された。①地区文教系、②地区建設系、③地区理工系、④地区生物系(教育大は①地区)。として今年中に、新住宅地域(328ha)の整地を行い、幹線道路を建設する。そして防災センター、無機材質研究所の地盤工事が開始される予定である。

このように、現地の状況は、茨城県の懸案—鹿島臨海工業地帯—の目途がつくに及んで、いよいよ進捗してきている。我々は自治組織配に身を託すことはできないのであって、研究学園都市そのものへ対する対決の姿勢を強めて、科学者、技術者との斗うブロックを形成する努力を開始せねばならない。

官憲の弾圧をはねのけ、細心の注意を払いつつ斗い抜こう!

我々は現在、適切なローテーションを組んで夜間パトロールを行っているが、現在まで多くの学友が官憲の尋問に遭遇し、不当な身体検査を受けている。また最近は管轄署まで連行されて脅かされるという事態も起きている。又、強行推進派が、傷害事件をデッチ上げ、それを口実に一挙に機動隊を導入しようという策動を行っているのではないかという観測が様々な筋よりなされている。すべての学友は結束して、不断の警戒心をもって任ムを遂行せよ!

〈パトロールローテーション〉

月	哲、仏、独
火	倫、史、哲
水	法、米
木	東、漢
金	西、国
土	社、書
日	日、英

米、漢、国、英の学校はパトロールの日には必らず結集するようにして下さい。

三輪新学長、学生切り崩しを策動!

卑劣にも家族あてにデマ宣伝!

八月十三日、学校当局は三輪新学長名をもって、各保証人へ、文書を発送した。その内容は、文の一部学生が"不法占拠"を続けて、教務事ム、奨学金内定通知等々を妨げている。それのみか、他学部の教官に拷問に等しい暴行を加え、教官が療養中(!)である、というようなもので、我々の斗争へ対する中傷によって、家族というカラメ手から学友に圧迫を加えようという意図が歴然とした代物である。学校当局はすでに、"橋本評議員ムチ打ち症"は団交の際の学生の暴行によるという、デッチ上げのデマ宣伝をふりまき、我々の孤立化を策してきている。問題の真の所在を明らかにしないウワ言に対して集中砲火を浴びせよ!